

リバースモーゲージの活用を推進せよ

みんなの党 石川 直行



高齢者世帯が増え、その多くは土地・建物は所有しているものの、年金のみでは生活が苦しいという声が多い。自宅を担保として貸付けを受け、リバースモーゲージは制度を知らないことや土地などを家族に継承させたい思いから普及には至っていない。地域の安寧を願い、住み慣れた我が家で住み続けるための選択

肢の一つとして、リバースモーゲージについて見解を問う。

区長 高齢者の、現在の住宅にそのまま住み続けたいという希望が多いことは認識している。年金収入のみでゆとりがないという不安を解消するための手段として、リバースモーゲージの活用は有効と考える。今後、区としての活用の可能性を研究したい。

野方駅以西の西武新宿線連続立体交差事業の早期実現を

自由民主党議員団 大内 つとむ



①連続立体交差化の構造形式調査では、高架案は950億円、地下案は1410億円となった。総合評価は「総合的に判断した結果、高架案が最適である」という結果になったが、今後どう進めるのか。

教育長 ①「新教育長の設置」「首長による教育長の直接の任免」「総合教育会議の設置」などが主な変更点である。②新制度においても独立した教育行政における執行機関と位置づけられ、学校の設置・管理など職務権限に変更はなく、現行体制が維持され、政治的中立性、安定性などは担保されるものと考えられる。

教育委員会制度改革を問う

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正さ

期日前投票所設置効果を問う

早期設置を強く求めてきた野方区民活動センター期日前投票所が、昨年6月の都議会

大和町のまちづくりを問う

公明党議員団 平山 英明



①平成25年第1回定例会の一般質問で、都市整備などに関連して、中野に新たに進出した3大学の力の活用を求めたところ、区長は大学に優れた人材がいることを認めた。その方達との協働を始めるべきだが、進捗状況は。②まちづくりにあたって、木造住宅密集地域の改善や地域に必要な公共機能の設置を可能にし、まちづくりのシンボルとなる公共施設の整備を検討すべきでは。③区は野方消防団第5分団本部の移転や交番の設置を検討し、地域や警察などと協議を進めてはどうか。

区長

①今年3月、区と明治大学、帝京平成大学の間で包括的な相互協力に関する基本協定を締結した。まず、明治大学と今後の連携内容について調整する場を持ちたい。②まちづくりに生かせるよう、区民活動センターの建て替えも一つの要素とするほか、民間の商業集積の誘導や公共の憩いの空間の配置などさまざまな観点から検討したい。③消防団施設の移転は消防防の要請で検討し、交番については周辺地域での統合移転も視野に入れ、警察と協議したい。

区役所・サンプラザ一体開発への区民の声を受け止めよ

日本共産党議員団 金子 洋



区民に「サンプラザを壊すな」との声が広がっているが、一体開発に対する区民の声をどのように受け止めるのか。

区長 一体的な再整備は、中野駅周辺まちづくりプラン「ドデザインバージョン3」などで明らかにしており、まちづくりの実績や成果を区民から支持されたと考えている。

国家戦略特区への姿勢を問う

区長は国家戦略特区の適用拡大を働きかける考えを示した。特区による容積率の規制緩和は巨大ビル建設の過当競争をもたらす。区が競争に勝ち残っても、地価が高騰し、庶民や若者が住めない街になる。区はこの競争に乗り出すべきではないのでは。また、労働時間・雇用の規制緩和は規制改革会議が提案した「労働時間の新たな適用除外」「ジョブ型正社員」を念頭に置いている。区はこのような労働と雇用のルール破壊に手を貸すべきではないのでは。

区長

①区は国家戦略特区の活用を考えており、区域指定に向け働きかけを行う。

産業振興の考え方の見直しを

講座の内容を見ても、区の

区長

①導入の必要性はないと考える。②「魅力ある店舗創出事業」のPRを強化するなど、活用を促したい。③区内商店街などに、さらに情報提供し、活用を促したい。

区長

①「魅力ある店舗創出事業」のPRを強化するなど、活用を促したい。③区内商店街などに、さらに情報提供し、活用を促したい。

産みたいと願う人がいつでも産める社会に

中野区議会民主議員団 中村 延子



妊娠・出産時に4人に1人がマタニティ・ハラスメントを経験したとの調査結果がある。安心して出産できる社会にする事が女性のキャリアアップを変え、本当の意味でのワーク・ライフ・バランスの推進になると思うが見解は。

区長 子育てを女性だけの問題とせず社会全体で支えていくという考えを広く啓発し、相談支援を充実させることが必要と考える。また、周産期を含む出産育児支援の拡充、子ども・子育て支援新制度の本格実施、保育サービス・子育て支援の拡充など、安心して出産や育児ができるまちづくりを進めていく。

男性が育児参加できる風土を

女性が家事・育児を行

男性が育児参加できる風土を

女性が家事・育児を行

区長

区は明治大学、帝京平成大学と3月に包括連携協定を締結した。今後、連携事業の拡大を検討したい。

「会期中」をお知らせしています

中野区議会では、区議会正面玄関等に「中野区議会会期中」の横断幕を掲示して、定例会の開会を区民のみならず皆さまにお知らせしています。ぜひ傍聴にお越しください。

